

About TS Tech

1960年の設立以来、私たちは60年以上にわたって自動車内装部品の開発・生産に取り組んできました。長い年月をかけて培ってきた技術やノウハウ、世界13カ国に及ぶグローバルネットワークを強みとして成長し続け、自動車用のシートやドアトリムをメインに、さまざまな製品を供給しています。

主要な製品群



1960
東京シート株式会社 設立
前身の帝都布帛工業株式会社より二輪車用シート事業を引き継ぐ

1963
四輪車用シート事業開始

1977
北米進出



品質への挑戦

ティ・エス テックにとって四輪車用シートづくりの原点ともいえる、ホンダ初代CIVIC用シート。表皮の縫い目破れや、当時は日本人のみを想定して設計したことで、極端に大きな体格の方が乗るとシートフレームが変形するなどトラブルが頻発しました。こうした、トラブルを即座に社内共有し迅速に改善するシステムは、現在でも活かされており、当時の苦い経験が品質への強いこだわりへと受け継がれています。



ホンダ 初代CIVIC用シート
1972年発売

快適性の追求

人によって感じ方の異なる快適さや疲労度などの官能性能を定量化し、人間工学に基づいた研究を重ね、快適姿勢の独自理論を製品に反映するなど「快適で疲れにくい」シートを追求し続けています。



ホンダ CIVIC用シート
1995年発売
座席の高さを調整する機構を初採用。小柄な人でも運転しやすいポジションに調整できるようになった。

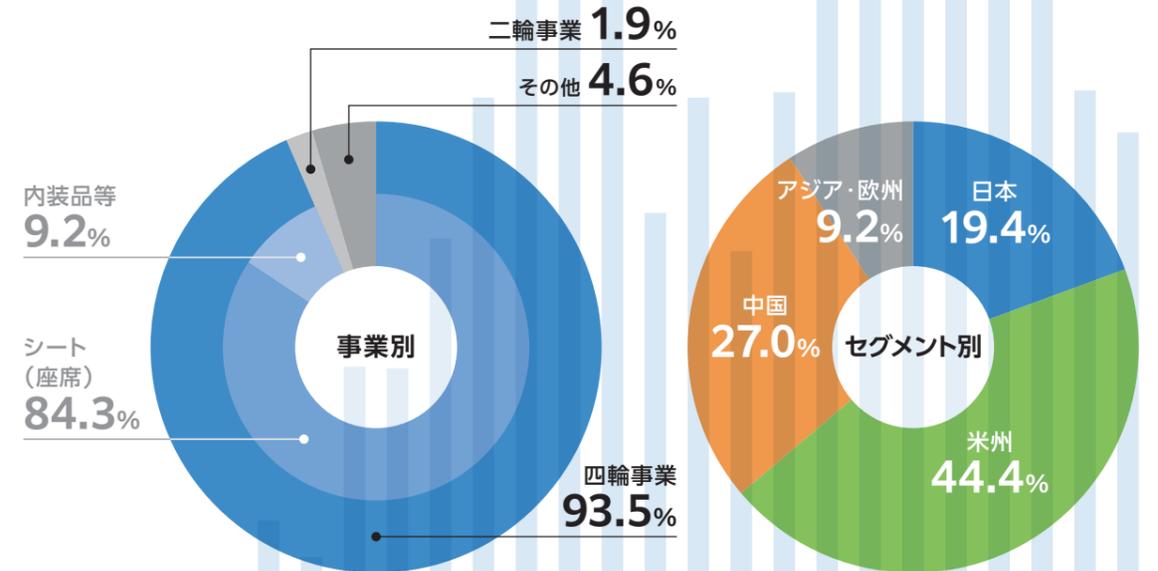
ホンダ ODYSSEY用シート
2013年発売

背もたれを倒すと連動して座面が持ち上がる。快適姿勢に近づけ、最上の快適性を実現。



売上収益
(連結)

4,092億円(2023年3月期)



従業員数
(連結)

15,172名

拠点数

13カ国 45法人 74拠点

1994 アジア進出
1996 南米進出
1997 ティ・エス テック株式会社へ商号変更
1999 欧州進出

2001
中国進出

2007
東京証券取引所市場第一部*上場

2010
創立50周年

強固な収益体制へ

事業拡大が進むにつれ、世界規模の金融危機や各国で起きる自然災害など、外部環境の変化から受ける影響はより深刻なものとなりました。そのような変化にも耐えられるよう取り組んだ、生産ラインの自動化技術をはじめとする徹底した開発・生産の高効率化が、現在のティ・エス テックグループの収益性の基盤となっています。



自動溶接設備

新たな価値創出

大きな変革期を迎えた自動車業界において、自動車に求められる機能や価値は刻々と変化しています。そのような中、これまでのシートやドア単品での開発にとどまらず、自動車の車室内空間を一括でコーディネート可能な「内装システムサブライヤー」を目指し、他企業との提携や共同開発を駆使して、新たな価値創出に取り組んでいます。



Health Care Seat
シートが乗員の姿勢をセンシングし、一人ひとりに合った最適な姿勢を検知。内蔵されたエアデバイスが筋肉をほぐし、骨盤から姿勢をサポート。